

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		中国社会論 2 B Chinese History and Society 2B				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 助教 藤井 律之			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	木4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
【授業の概要・目的】											
<p>テーマ：群書治要の研究III</p> <p>群書治要とは、唐代に編纂された類書であるが、中国ではいったん失われ、日本に将来されたことによって現在まで伝承されてきたという、奇特的な書物である。同書は唐の皇族の教育を目的としたもので、節略されてはいるものの、経・史・子部書を多数含む。</p> <p>本講義では、昨年講義し終えた経部に引き続いて同書所収の史部書を取りあげ、その梗概を紹介し、あわせて収録箇所について検討する。</p>											
【到達目標】											
唐代における代表的な史書について知り、そうした典籍のいかなる部分が重視されていたのかを理解する。											
【授業計画と内容】											
基本的に以下のプランに従って講義を進める。											
<p>第一回 群書治要とは</p> <p>第二回 代表的な群書治要のテキスト</p> <p>第三回 群書治要の編纂者たち</p> <p>第四回 史記(1)</p> <p>第五回 史記(2)</p> <p>第六回 史記(3)</p> <p>第七回 史記(4)</p> <p>第八回 史記(5)</p> <p>第九回 漢書(1)</p> <p>第十回 漢書(2)</p> <p>第十一回 漢書(3)</p> <p>第十二回 漢書(4)</p> <p>第十三回 漢書(5)</p> <p>第十四回 漢書(6)</p> <p>第十五回 まとめ</p>											
【履修要件】											
特になし											
----- 中国史論 2 B(2)へ続く -----											

中国社会論 2 B (2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

講義内容の理解度を確認する小テストと定期試験の点数によって評価する。
小テスト...20点、定期試験...80点とし、60点以上を合格とする。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に指示する。

(その他(オフィスアワー等))

歴史はもちろんのこと、書物に関心のある方は是非どうぞ。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。